

ゼロカーボンシティこしみず

～ 自然の恵み みんなでつなげる 豊かな未来 ～

わが国では、2020年10月に2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」をめざすことが宣言され、北海道においても、再生可能エネルギーと森林吸収源など北海道の強みを最大限活用し、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進め、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける北の大地「ゼロカーボン北海道」が表明されています。

このような中、小清水町では地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定し、公共施設等において温泉熱を活用するなど二酸化炭素排出抑制に取り組むとともに、環境保護団体との連携による地域に密着した自然環境の保全と回復活動、耕畜連携による循環型農業の実践など、豊かな自然と共生するまちづくりを進めてまいりました。

この取り組みをさらに加速化するため「こしみずゼロカーボンシティ戦略」を2023年2月に策定し、町民・事業者の皆さまのご協力をいただき、さまざまな主体と連携しながら、2050年までにカーボンニュートラルが実現されるよう、次のとおり宣言します。

宣 言

小清水の豊かな自然がもたらす恩恵を確実に未来に引き継ぐためにも、今、私たちは行動しなければなりません。気象の変化や自然環境に影響を及ぼす温室効果ガスの排出量を可能な限り抑制し、持続可能な地域社会の実現に向けて、小清水町は「ゼロカーボンシティ」をめざすことをここに宣言いたします。

令和5年(2023年)3月7日

小清水町長 久保 弘志